平成１８年１月１７日
監　　査　　室

大学院入試ミスの防止に関する内部監査報告について

Ⅰ　監査実施の概要

１．監査目的

大学院入試に係る入試ミス防止対策の評価

２．監査対象部局

文学研究科、教育学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学系研究科、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科、農学研究科、国際文化研究科、情報科学研究科、生命科学研究科、環境科学研究科、教育情報学教育部、教育・学生支援部　　計１６部局

３．監査事項

別紙「監査事項一覧（大学院入試ミスの防止)」のとおり

４．監査実施期間

平成１７年１１月７日～平成１７年１１月１８日

５．主な監査手続

① 大学院入試の実施体制（募集から合格発表まで）に関する質問
② 大学院入試ミスの防止に関する周知資料その他の管理資料の閲覧

Ⅱ　監査結果の要約

１．全般的所見

ア) 大学院入試に係る入試ミス防止に向けた対策について監査したところ、「問題作成時の二重チェック」など適切な対策が講じられていた。特に注目すべき取り組み事例として、「実際の試験と同時刻に、実施本部内で大学院生に試験問題を解答させ、万一の問題ミスの早期発見及びミスに対する対応を迅速に行える体制の整備」が挙げられる。

（主な対策）

- 試験問題の問題作成者以外の教員によるチェック体制の整備
- 試験問題の適切な保管管理の実施
- 監督者説明会の実施

イ）また、昨年２月から８月にかけてミスの発生した部局においては、それぞれ「試験問題のチェック体制の強化」などの再発防止策が講じられていた。

ウ）一方、実施状況に一部不適切な事例が認められ、特に下記「２．重要事項」に示した「採点表のチェック体制」及び「試験終了後の答案用紙の保管管理」の２件に関しては、適切な体制となるよう改善の要求が必要である。

また、重要事項以外にも、「採点後に採点者以外の他の教員による再チェックが行われていない」などの事例があった。これらについては、監査報告書の送付を行う際に所要の改善を促す。

（主な不適切事例）

- 採点後に採点者以外の他の教員による再チェックが行われていない
- 採点を自室で行う場合、答案用紙の管理について注意喚起をしていない

２．　重要事項

（１） 採点表のチェック体制について

一部の部局では、採点後の答案用紙を各採点者が保管管理し、試験本部等へは採点結果を記載した「採点表」のみが提出されている状況であった。このため、採点表への転記の正否がチェックできない体制となっている。

合否判定資料の正確性を確保するためにも、採点表と合わせてその基となる答案用紙を回収し、転記の正否をチェックする必要がある。

（２） 試験終了後の答案用紙の保管管理について

一部の部局では、答案用紙を保管せずに、合否判定後に処分されていた。

答案は情報公開の対象となる行政文書であり、また、本学の文書管理規程において答案の保存期間を１年と定めていることから、開示請求などに備えるためにも、１年以上の保管が必要である。

Ⅲ　改善要求等

重要事項については、当該部局に対し、それぞれ該当する事項に関する改善提案を行うとともに、改善計画書の提出を要請する。

別　紙

監査事項一覧（大学院入試ミスの防止）

１．募　集

募集要項の作成について

・募集要項作成のための組織は整備されているか。（いつ、何処で決められるのか。）

・原稿のチェック体制は整備されているか。

・願書受付の体制は整備されているか。

・願書のチェック体制は整備されているか。願書が不備であった場合の対応方法は確立されているか。（願書には「出願書類に不備書類、記入漏れなどの不備がある場合は、受け付けません。」と記載されている。）

受験票の送付について

・受験票と願書とが離れてから送付されるまでの作業方法は整備されているか。

２．問題作成

試験問題の作成について

・問題作成のための組織は整備されているか。（いつ、何処で決められるのか。）

・問題作成者はどのようにして決められるのか。

・問題作成後のチェックはどのように行われているか。（方法、回数）

試験問題の保管・管理について

・印刷は誰が、どこで、行うのか。

・印刷後の問題は、誰から誰へ渡されるのか。

・問題の保管場所は何処で、誰が保管の確認を行うのか。また、印刷は試験の何日ぐらい前に行われるのか。

３．実　　施

実施組織について

・試験実施のための組織は整備されているか。（いつ、何処で決められるのか。）

・実施説明会は開催されているか。（監督者、担当者などの出席状況はどうか。）

・問題の保管場所から誰が搬出するのか。また、保管状況の確認は行っているか。

会場準備について

・受験生に特殊事情等がある場合、関係者に周知され、対応がされているか。

本人確認について

・受付はどのように行っているか。

試験監督について

・試験監督の仕事がマニュアル化されているか。答案用紙回収後のチェックはどのように行っているか。

４．採　　点

採点について

・採点のための組織は整備されているか。（いつ、何処で決められるのか。）

・採点は誰が担当するのか。

・採点後のチェックはどのような方法で行われるのか。

・採点後のデータ化（判定資料の作成）は誰がどのように行っているか。

５．合否判定

合否判定について

・合否判定の組織は整備されているか。（いつ、何処で決められるのか。）

・合否判定におけるチェック体制はどのようにして行われているか。

合格発表の方法について

・合格発表はどの様な方法でしているか。チェック体制はどうなっているか。

６．そ の 他

再発防止対策について

・再発防止に向けての取り組み状況（過去１年間に入試ミスが発生した部局に対しての確認事項）